

# 2018 年産業カウンセリング

## 第 47 回全国研究大会 i n 北海道

2018 年 6 月 2 日（土）～6 月 3 日（日）

### 分科会発表者募集

今大会は、「北の大地で考えよう～心豊かに働ける職場づくり～」をテーマとして掲げました。めまぐるしく変化する職場環境にあっては、働く人も自ら主体的に関わり、組織と個人が共に働き、作り上げることが不可欠であると考えます。さまざまな環境や価値観、働き方が変化する中で、産業カウンセラーとしてどのように関わるのか、働く人々だけでなく、地域に住む私たち自身が果たす役割にも視点をひろげ、幅広い活動について学習できるよう 6 つの分科会を開催いたします。

今回の分科会は、3 つの継続テーマに加え、キャリアコンサルタントの役割をテーマに第 4 分科会、産業カウンセラーが社会・地域でどのように活躍できるかをテーマに第 5 分科会、発達障がいの基礎的学習と支援をテーマに第 6 分科会を開催いたします。

各分科会では、それぞれのテーマに沿った活動現場での実践例を中心に、日頃の成果をご報告いただき、より多くの会員の参加のもと、意見交換をし、実りの多い参加型・交流型の分科会を実現したいと考えています。それぞれの分科会では、大会のテーマと各分科会の狙いの実現を目指して、既成概念や制約を持たずに、率直な意見交換を通じて、今後の産業カウンセラー・キャリアコンサルタントの在り方を検討していく場としていきたいと考えています。

大会実行委員会事務局では、各分科会での事例発表者を募集致します。日頃の活動の成果をご報告いただき、分科会の充実には是非ともご協力ください。

#### 第 1 分科会 「産業カウンセラーの実践力を高めるためには」 (継続テーマ)

コーディネーター 沖縄支部 島仲 ルミ子

今回は、カウンセラーとしての実践力を構成する普遍的な要素を中心に、3 領域での具体的な活動を報告いただき、午後からのグループワークで討議していきます。それぞれの立場で明日からの行動につながるような学びにしたいと思います。発表事例としては次にあげる 6 つの側面を柱にして構成する予定です。

- ①キャリア形成支援(パフォーマンスの低い社員への支援など)
- ②教員へのメンタルヘルス

- ③ポジティブメンタルヘルスの展開(企業への取り組みなど)
- ④ストレスチェック制度の集団分析を活かす取り組み
- ⑤資格取得後の実践力強化の取り組み(育成・研鑽の仕組み)
- ⑥スーパーバイズについて

## 第 2 分科会 「産業社会の期待に応えるためには」(継続テーマ)

コーディネーター 東関東支部 岡田 敏雄

私たち産業カウンセラーは、産業現場で働く人々への支援を中心に活動しています。この分科会では、産業カウンセラーとして、外部からの支援だけでなく実際の企業・組織での取り組みや、賛助会員が求めている支援とは何かなどを考えていきます。産業社会が「真に求めている支援」とはどのようなものか、今後の活動のあり方を検討し、展開していこうと考えています。

- ①中小企業のメンタルヘルス対策(賛助会員からの実践事例)
- ②助成金を活用した対策支援
- ③ADR への取り組み事例

その他、産業カウンセラーだけではなく、大会に参加してくださる賛助会員をはじめ、企業・団体の方々にも役立つ内容を盛り込みたいと考えています。

## 第 3 分科会 「新たな事業の取り組みについて」(継続テーマ)

～支部と他機関の共働事業～

コーディネーター 東京支部 鳥井 由紀子

新たな事業の取り組みについては、この3年間それぞれの大会で様々な活動報告がされてきました。北海道大会では、支部が中心となって他機関と連携しながら共働している事業について考えたいと思います。

地域の会員(組織)とどのように連携するか、産保センターや検診機関、賛助会員への支援など、さまざまな機関との連携のあり方を知り、そして自らの地域に置き換えて、今後どのように展開していけるのか、グループ討議では参加者とともに考えていきたいと思っています。

#### 第4分科会 「これからのキャリアコンサルタントのあり方について」 ～働き方改革をみすえて～

コーディネーター 東京成徳大学教授 石崎 一記

長時間労働からの脱却を中心とした働き方改革や、グローバル化による不確実性の高い時代の到来が予想されます。これから働く人々には「キャリア自立」を求められてきます。そのような状況の中で、大学等での学生へのキャリア支援、企業の中でのキャリア支援など、さまざまな分野での実際の取り組みについて事例を発表していただき、国家資格となった今、キャリアコンサルタントとして求められていることは何かを確認し、今後の課題やあり方を改めて考えていきます。午前中は実際の取り組み事例を発表していただき、午後からはシンポジウム形式での討論と、参加者からの発言をもらいながらディスカッションしていきたいと思います。

#### 第5分科会 「産業カウンセラーにできること」 ～社会・地域にいかす～

コーディネーター 関西支部 田中 晶子

ボランティア(災害支援や防災活動など)や地域における個人の活動など、産業現場以外での活動の取り組みの発表を通して、私たちが社会・地域で「何ができるのか」を知ることにより、学びを深めたいと思います。ボランティア・外国人(労働者・実習生等)への支援など、あらゆる分野での取り組みについて、共有できればと考えています。

#### 第6分科会 「発達障がいと思われる方への接し方」 ～職場での支援を考える～

コーディネーター 北海道医療大学名誉教授 坂野 雄二

今、産業現場でも多くなっている発達障がいについての基礎的な学習と支援の方法などをテーマに公開講座を実施いたします。

そのような特徴を持つ方々が、能力を発揮するためには、適正な職場環境、また周囲の理解と環境整備が不可欠と言われています。私たち産業カウンセラーは職場でその方々の良き理解者となり、つなぎ手となり、支援を実践するために必要なことは何なのか。また、具体的にできる支援とは何なのかを考えていきたいと思います。

午前中は基礎講座で知識などを学習し、午後からはさまざまな分野における実際の支援者の意見をお聞きし、シンポジウム形式で進めます。産業カウンセラーとしてどのように支援していくことができるのか、参加者のみなさまと一緒に考えていきたいと思ひます。